

① 生徒の進路実現を目指した指導力・授業力の向上 (言語活動の充実を盛り込む)

課題と目標

【具体的な取組】
 ・各教科と協力して新教育課程における指導計画を作成する。

B【教務】

・プロジェクト研修を実施し授業での活用を推進する。

B【教務】

・校外の教科指導研修講座に参加する。

A【進路】

・国公立個別試験の問題研究を行う。

A【進路】

・授業アンケート項目を再検討する。

B【総務】

・学校図書館利用の促進と広報活動。

B【文化】

・語彙力をつけさせることで言語活動の充実を図る。

B【国語科】

・論述問題により、言語力・思考力の育成を図る。

B【地歴科】

・授業中での生徒の発表や説明の機会を増やすことにより、学力の向上を図る。

A【数学科】

・実験実習や考察結果を発表する機会を設けることにより、プレゼンテーションの育成を図る。

B【理科】

・自主性を重んじる学習指導の中で、主体的に意見を述べさせ行動する力をつけさせる。

B【保体科】

・作品の印象や構成、表現効果等について批評し合い発表をする。批評・話し合いは後期に実施する。

A【芸術科】

・事業指定を受けている音声指導と音読指導法を礎に年次に応じた応用の研究。

A【英語科】

・クラス内及び複数クラス間での学習発表会を試行する。

B【家庭科】

【プロセス】

【教務課】

・教育課程委員会を3回実施し、新学習指導要領に対応したカリキュラムを作成中である。

・教科主任会議(授業研究部会)を2回(4/13, 5/23)実施し、新カリキュラムの調整を図っている。

・公開授業第1回(6/20~6/24)実施して、「言語活動の充実」を共通テーマとして新しく設定した。全員が授業を公開して、各授業を同じ教科の複数の教員が見学するように事前に時間割で決めてから実施した。2回目は11/7~11/18を実施した。

・岡山朝日 5/8, 6/30 岡山操山 6/7 城東 6/6 玉島 6/22 備前緑陽 7/8 笠岡 8/1 神戸市立葺合高校・兵庫県立国際高等学校・大阪府立寝屋川高等学校・立命館宇治中・高等学校(パワーアップ事業), 学習院大学 5/28

・教員研修プログラム 河合塾(1名), 代ゼミ(2名), 駿台(6名) 内訳(国語1名, 地歴1名, 数学2名, 理科3名)

・教科ごとに岡山大学2011年度入試問題の検討を行い、解答と解説の作成を依頼し原稿冊子を完成させ、教員・HR・希望者に配付する。

【進路課】

・岡山朝日 5/8, 6/30 岡山操山 6/7 城東 6/6 玉島 6/22 備前緑陽 7/8 笠岡 8/1 神戸市立葺合高校・兵庫県立国際高等学校・大阪府立寝屋川高等学校・立命館宇治中・高等学校(パワーアップ事業), 学習院大学 5/28

・教員研修プログラム 河合塾(1名), 代ゼミ(2名), 駿台(6名) 内訳(国語1名, 地歴1名, 数学2名, 理科3名)

・教科ごとに岡山大学2011年度入試問題の検討を行い、解答と解説の作成を依頼し原稿冊子を完成させ、教員・HR・希望者に配付する。

【総務企画課】

・アンケート項目を改善し、授業アンケート実施(7/16~7/18)の集計結果についてのデータを提示

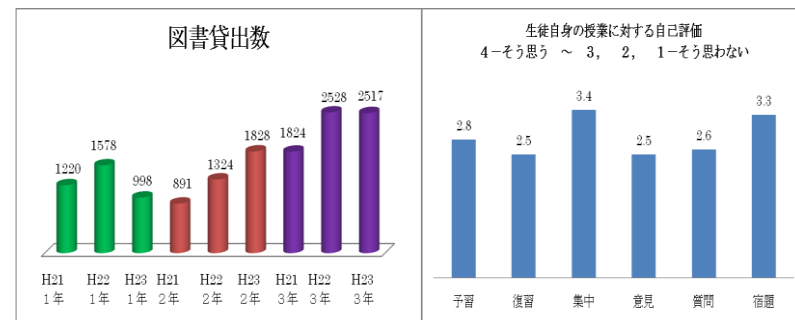
【家政科】

・「言語活動の充実」を更に推進するための活動として、生徒が主体となる家政科全年次生による家政科集会の実施に向けて、計画を進め12月実施した。

【文化課】

・学校図書館利用授業数が、平成21年度76件、平成22年度142件、平成23年(前期)49件であった。年度により同一教科の利用頻度の差が大きいことが件数の減少の原因となっているので、偏りがでないように広報活動を更に充実させる方策を検討している。

・1月末までの貸出数は次の通りであり、1年次生の利用促進が課題である。



【結果等】

【教務課】

・専門教科の授業見学率は100%

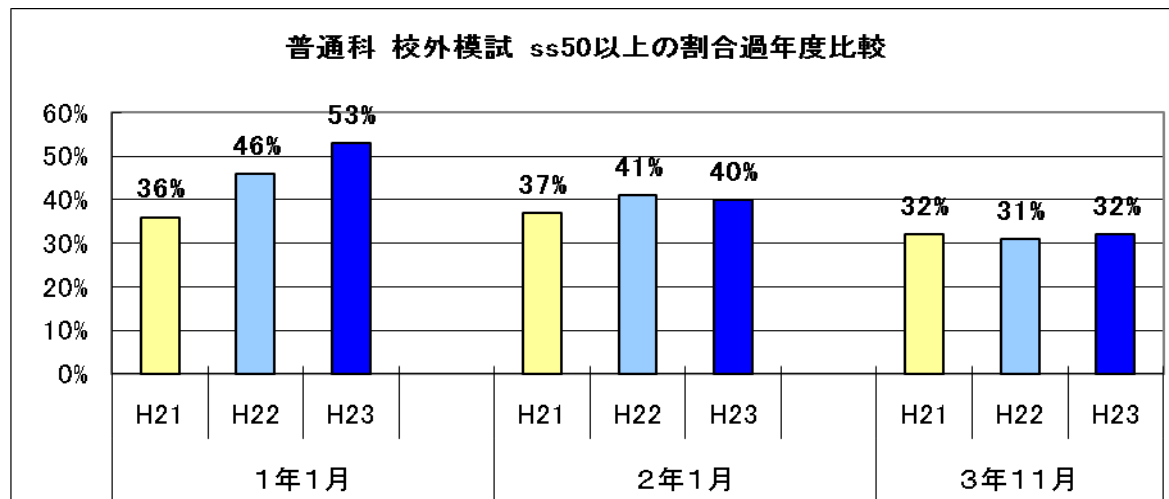
・昨年度に比べ他教科の見学が飛躍的に増加した。(他教科見学0時間36人→13人)

・言語活動の充実の理解については、8割が深まったと回答している。

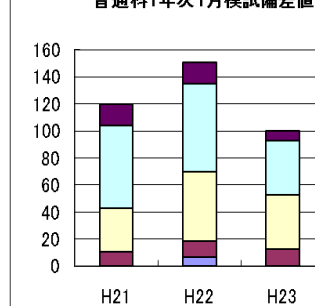
・プロジェクトの研修では、1回目26人、2回目21人が参加し4割弱の教員が授業で活用。

・見学後の教科会議での意見交換や評価、テーマについての反省とまとめは不活発である。

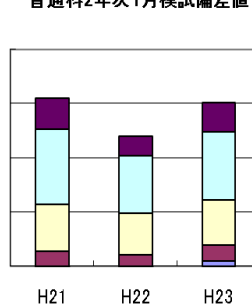
【進路課】



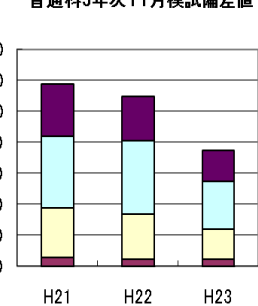
普通科1年次1月模試偏差値



普通科2年次1月模試偏差値

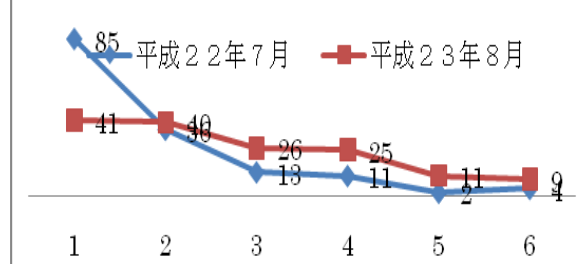


普通科3年次11月模試偏差値



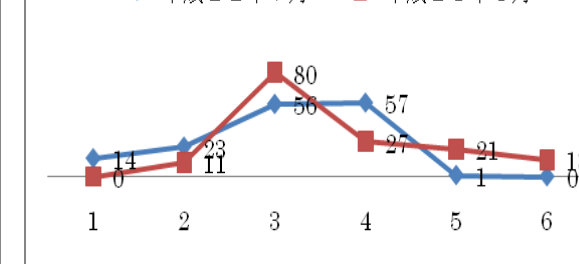
GTEC READING SCORE

6 海外進学可 5 海外での高校授業
 4 海外ホームステイ 3 日常会話
 2 定型的なやりとり 1 挨拶程度



GTEC WRITING SCORE

6~1は READING と同等



○言語活動の充実に関する方策を盛り込む。
 ・新教育課程への対応

○授業見学は定着してきたので、個人の研修から教科での研究へステップアップする。

・見学率 100%
 ・見学後の意見交換
 ・他教科の見学

○校外での授業研究を推進する。
 ・報告書等による情報の共有
 ・教科、全体

○教科会議を充実する。
 ・授業見学、授業アンケートの活用
 ・校外での研究成果の共有

○組織、個人としての進路指導力を一層向上させる。
 ・全員研修会の工夫と充実
 ・指導方針の確認と指導スキルの向上

○校外模試偏差値50以上の人数

・1年 50
 ・2年 60
 ・3年 50

○国公立大学合格者数 50